



一人権だより

vol.44



【拉致問題を考えるみんなの集いの案内】

北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しつつ北朝鮮当局による人権侵害の問題の実態を解明し、その抑止を図る目的として、平成18年6月に「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行されました。

その法律では、国及び地方公共団体の責務等が定められるとともに、毎年12月10日から同月16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」とすることとされています。

この期間に行われる講演会をきっかけに大きな人権侵害問題である拉致問題を考えてみませんか。

○平成26年度人権講演会「拉致問題を考えるみんなの集い」

【日時】 12月11日(木) 14時～16時

【場所】 アクロス福岡イベントホール
(福岡市中央区天神二丁目一一二)

【内容】 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表 飯塚繁雄さんによる講演「ブルーリボンに願いをこめて」

【その他】 定員800名(先着順)。参加無料。申込不要。手話通訳・要約筆記あり

【主催】 福岡法務局・福岡県・福岡市・福岡県人権擁護委員連合会

【問合せ先】 福岡県保護課 092・643・3301



▲ブルーリボン運動とは、北朝鮮に拉致された日本人拉致被害者を救出することを目的とした運動です。

けいせんびと

～話題の人・団体～

健康な歯の秘訣は、 何でもしつかり食べること

大塚ツヤ子さん 80・20運動達成で表彰



厚生労働省と日本歯科医師会では、歯に関する「8020(はちまるにいまる)運動」を推奨している。これは、「満80歳で20以上の歯を残そう」という運動で、「20以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができる」と言われていることに由来し、平成元年から行われている。

大塚さんは、これまで永久歯を2本しか抜いておらず、それ以外はすべて自分の歯だという。その健康な歯は、治療に訪れた歯科医師に褒められたほどだ。

今年度、8020運動を達成したとして、飯塚歯科医師会から表彰されたのが、大塚ツヤ子さんだ。

健康な歯の秘訣について聞くと「これといったことは何もしちよらんけど、農家出身で、子どもの頃から芋でも何でも食べよったきね。そんなことが健康な歯に繋がっちゃうんかも知れんね」と笑顔で話す。

大塚さんは昭和8年生まれで81歳。シャキッと伸びた背筋とハツラツとした明るい声が印象的だ。趣味はドライブだという。

日々手入れをしている畑を眺めながら「固いものでも何でも食べられると、歯が健康で良かったら思えばい」と話す大塚さんの言葉には、改めて健康な歯の大切さを教えられる。



大塚 ツヤ子さん
Otsuka Tsuyako (81歳・土師)



▲飯塚医師会から表彰される大塚さん(左)。今年度桂川町から表彰されたのは大塚さん一人だけのこと。